

3歳児健康診査 視力検査について

★視力検査はなぜ必要？

子どもの視力は、生まれてから発達を続け、6歳頃にはほぼ完成します。しかし、強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視があると、視力が発達せず弱視になる恐れがあります。それを防ぐには早期発見と早期治療がきわめて大切です。

★3歳児健康診査で行う視力検査について

3歳児健康診査では、2種類の視力検査を行い、結果を判定します。

- ① 健康診査当日までにご家庭で行う検査
- ② 健康診査会場で行う検査（屈折・眼位検査）

異常の見逃しを少なくするために、ご家庭での視力検査がとても大切です。
ご家庭での視力検査の結果を健康診査票に記入し、当日ご持参ください。

★検査をする前に・・・

練習をしておくで、上手く検査ができるようになります。
上手くできるように練習してみましょう！

練習のやり方※両目でやってみましょう

- (1) お子さんに、近くで練習用の視標（大きい輪）を見せて、輪が切れていることを教えます。
- (2) 視標を上、下、左、右に動かし、輪のどこが切れているか聞きましょう。輪の切れ目の方向を指か手、または言葉で答えさせます。



★視力検査の方法

＜用意するもの＞

- ・ 検査用視標（小さい輪）
- ・ アイマスク（表がトラ・裏がパンダのもの）
- ・ 三歳児健康診査票（目に関する調査票）
- ・ 輪ゴム（2本）
- ・ はさみ
- ・ のり（セロハンテープ）



◆事前準備

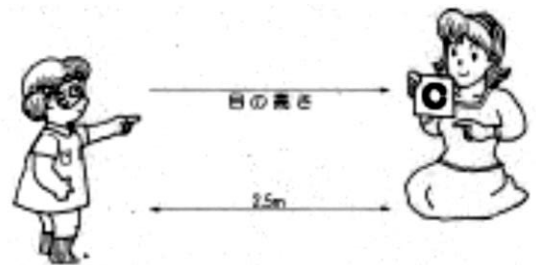
- ・アイマスクの小さい穴にそれぞれ輪ゴムを通しメガネを作る。
- ・はさみで視標を点線に沿って切り、20 cm四方の白い紙に貼る。

明るい部屋、楽しい雰囲気
で検査をしましょう。
お子さんの機嫌の良いときに
遊びながらやってみましょう♪



◆検査をしましょう

- (1) 検査用の視標(小さい輪)をお子さんから、2.5m の距離に離します。



- (2) 最初は、両目で検査をします。
輪の切れ目を上・下・左・右の4方向に動かし答えさせてください。

問いかけの例…

「問題です！穴が開いているのはどこでしょうか？(クイズ番組のように楽しく)」
「ドーナツどこ食べたかな？」

- (3) 次に、片目ずつ検査をします。
お子さんにアイマスクをつけて、右目から行います。
隠している目で見ないように、正しくつけて顔をまっすぐにし、正面から見るように気をつけましょう。

- (4) 検査結果を三歳児健康診査票(右下、「目について」の欄)に記入します。

検査がうまくいかない時…

- ・一度検査してうまくできなくても何回か繰り返すと、慣れて上手にできるようになります。嫌がるときは別の日に検査をしてみましょう。
- ・輪の切れている方向をうまく指さしできない時は、練習用の視標(大きい輪)をお子さんに持たせ、検査の視標と同じ方向に向けてもらう方法でも大丈夫です。